

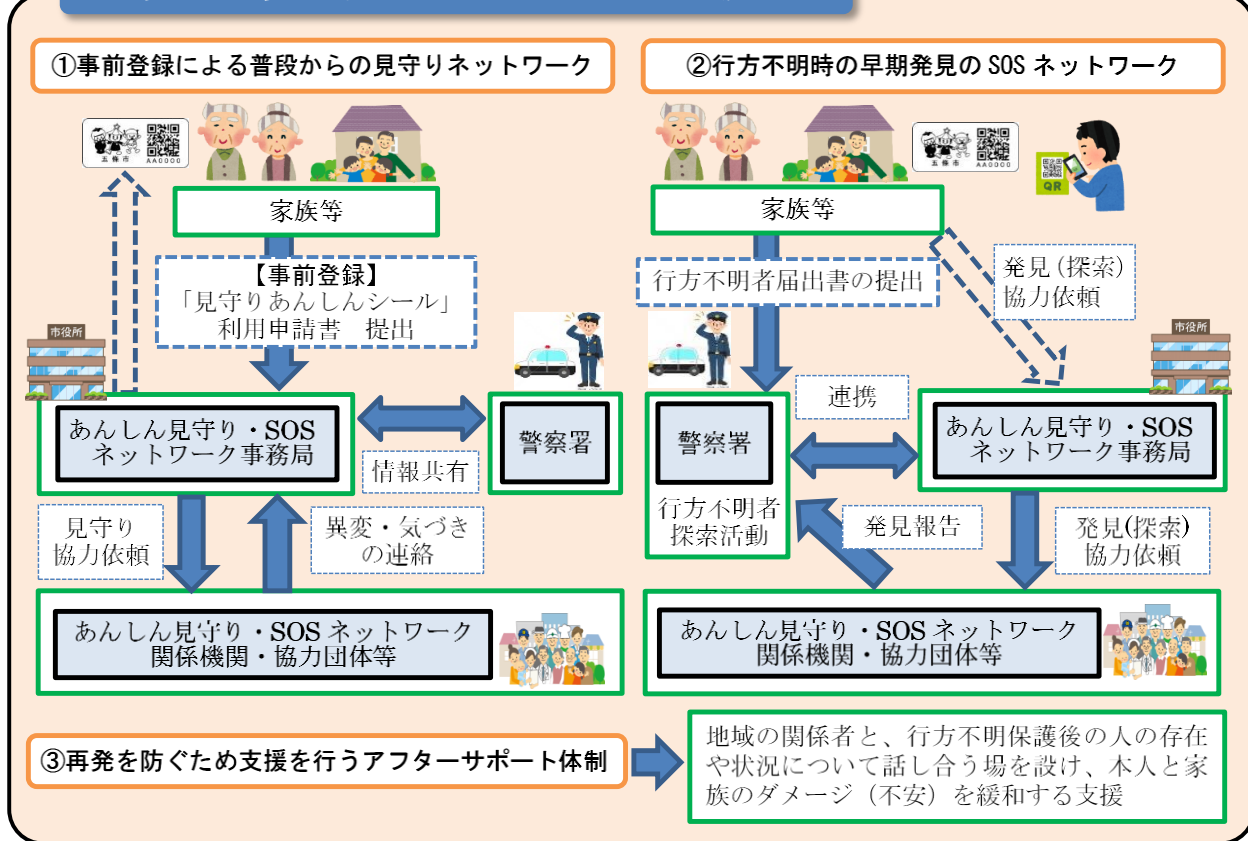
～ 認知症になっても安心して暮らせるために ～

五條市あんしん見守り・SOSネットワークについて

◇五條市あんしん見守り・SOSネットワークとは？

五條市では、認知症により行方不明になる可能性のある人などを、関係機関や協力団体、そして地域住民の人と連携して日頃から見守り、行方不明の未然防止につながる地域づくりを行い、もし行方不明になった場合には、速やかに発見（探索）・保護し、その後の生活を見守り支援していく支援ネットワークを展開しています。

あんしん見守り・SOSネットワークの流れ



- 認知症等により行方不明となる可能性のある人の事前登録(見守りあんしんシールの利用)をお願いします。
- 日常的な見守りや認知症の人が行方不明になった際、早期発見にご協力いただける協力団体(企業や団体)を募集しています。

<詳しくは、裏面をご覧ください>

○「五條市あんしん見守り・SOSネットワーク」構成機関

- 関係機関：自治会、民生委員、警察署など、地域ケア会議を構成する団体等
- 協力団体：あんしん見守り・SOSネットワークの趣旨に賛同し、協力できる企業、団体等
- 事務局：五條市あんしん福祉部 介護福祉課、地域包括支援センター

【言葉・用語の配慮】

「徘徊」の文字は使わない ⇒ 認知症を発症している本人は、「目的もなくウロウロしている(徘徊)」のではなく、何らかの目的があって歩いています。誤解や偏見をなくすため「行方不明」という言葉としています。

◇事前登録とは？ ◇協力団体の登録・募集について

◇事前登録とは？

認知症により行方不明になる恐れのある人が、事前に本人の身体的特徴や連絡先、写真などを登録しておく制度です。

五條市では、認知症等が原因で行方不明となる可能性のある本人の安全及びその家族の精神的負担の軽減を図ることを目的に、平成30年7月からQRコードを活用した「見守りあんしんシール」交付事業を始めており、この事業の利用申請書の内容を本人の情報として事前に登録しています。

【事前登録のメリット】 ～ご本人・ご家族の安心につながります～

- ① 事前にご本人の情報を整理し連携体制をつくっておくことで、日頃からの見守りにつながり、ご本人が地域で暮らすことができる地域づくりにつながります。
- ② もし行方不明になった場合、依頼を受けて各関係機関や協力団体、地域の協力者に情報発信し、スムーズに発見（探索）活動を開始できます。



「見守りあんしんシール」

※行方不明になった場合、ご本人の写真(鮮明な最近のもの)・身長・体重等の身体的特徴など、本人の情報が分からず準備できないこともあります。事前登録制度は、前もって確認・準備できるため、的確な情報を元に警察や地域の発見（探索）活動が行えます。

◇協力団体の役割？～協力いただける企業・団体を募集しています～

五條市では、在宅で生活されている認知症の人やその家族が安心して地域で生活できるよう、協力してくださる市内の企業や団体を募集しています。

登録いただいた協力団体には、行方不明になった場合、発見（探索）など活動を強制するものではなく、地域での日常的な見守り（生活を通じた目配り）や日頃の生活の中で認知症の人を見かけた際に、ちょっとした声かけや関係機関等に連絡していただくなど、認知症の人が行方不明になった際に可能な範囲で早期発見にご協力いただくものです。



◇問い合わせ先

事前登録や協力団体の登録については、申請書の提出をお願いしています。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

「五條市あんしん見守り・SOSネットワーク事務局」

介護福祉課 長寿係

☎ (22-4001)

地域包括支援センター

☎ (25-2640)